



辻川だより

第7号 [2008 秋号] 平成20年9月6日発行

発行 辻川区 [辻川公民館]
〒679-2204 福崎町西田原 1227
TEL 0790-22-5763
ホームページ <http://www10.plala.or.jp/tujikawa/>



8/2 辻川鬼太鼓・餅まき



浪花の猿回し「らん太と花子」



界隈展・民俗学の夕べから 秋祭りへ

区長 釜坂道弘

今年の夏も大変暑い日が続きました。皆様お変わりありませんか。

そんな暑い中、今年も多くの人たちの協力で界隈展・民俗学の夕べが開催されました。大変喜ばしいことと思います。「辻川らしさ」を一番表現できる行事といえます。今後も皆様と一緒に続けていきたいと思っています。

さて、夏が過ぎて秋祭りの季節がやってきました。今年の祭りでは、秋祭りの持つ意義を大切にしながら、辻川区の住民の心が一つになれるよう心掛けてほしいと願います。是非、たのしい祭りができますよう、期待をしたいと思います。

協議委員会は今

7月・8月の定例協議委員会での報告や検討した内容を一部紹介します。

- ① 敬老の日の催事
- ② 自治会親善ソフトボール大会
- ③ 道普請・雲津川清掃
- ④ 公民館下水道接続工事
- ⑤ 町内会費(世帯の定義)
- ⑥ 公民館の消防計画と防火管理者選任
- ⑦ 七夕通街路灯の消灯時間等

当面の予定

- 9月23日 道普請(少雨決行)
- 9月28日 敬老会
- 10月11・12日 秋祭り
- 11月 フラワーポット植替
- 12月 隣保長・各種団役

員会議

事業未報生口

◆7月5日(土)

隣保長・各種団役員会議

- ① 7~9月の行事・事業確認
- ② 辻川界隈展・民俗学の夕べの詳細説明
- ③ 自治会親善ソフトボール大会の参加選手推薦依頼
- ④ 今年度敬老会は西脇健康ランドで
- ⑤ 9 隣保に防犯灯2基設置
- ⑥ 20・21 隣保のごみ収集を7月から福崎町が実施(管理は辻川区、清掃はサカエの管理人)

⑦ 恵美須神社の賽銭箱と山

口堂の扉が壊された件等

◆7月13日(日)

福崎町子ども会 球技大会

田原地区大会で見事、準優勝に輝いた辻川チーム(ソフトボール)でしたが、一回戦で西治・西谷合同チームに4-1で逆転負け。悔し涙に元氣・チームワーク・感謝をみました。ありがとうございました。

◆7月25日(金)

自治会人権・青少年健全育成研修会(町教育委員会)

例年、冬に行っていた研修会を、親子が参加できる夏休みに実施したところ60名の出席(内、中学生以下21名)がありました。人権啓発映画「こころに咲く花」は、いじめに対して勇気を出して声を発する大切さ、一歩踏み出す勇気を訴える作品でした。



7/27 岩田さん版画展

◆7月27日~8月3日

辻川界隈展

◆8月2日(土)

民俗学の夕べ

今回初めて
大庄屋三木家



住宅で、川柳ふところ旬会のメンバーによる作品展と句会を行ったところ、たくさんの方に見学していただきよかったです。また、民俗学の夕べにも境内が満員になるほどたくさんのお客さんに来ていただきました。

これもひとえに、行ってみたくなる新聞折込や町内各所に貼られたポスター制作から、区民全員参加の七夕飾りや各種団体の夜店出店等まで、皆様の協力のおかげです。特に、準備や撤去作業に関わっていただいた方々に感謝申し上げます。(上延教泰)



◆8月3日(日)グリーン作戦

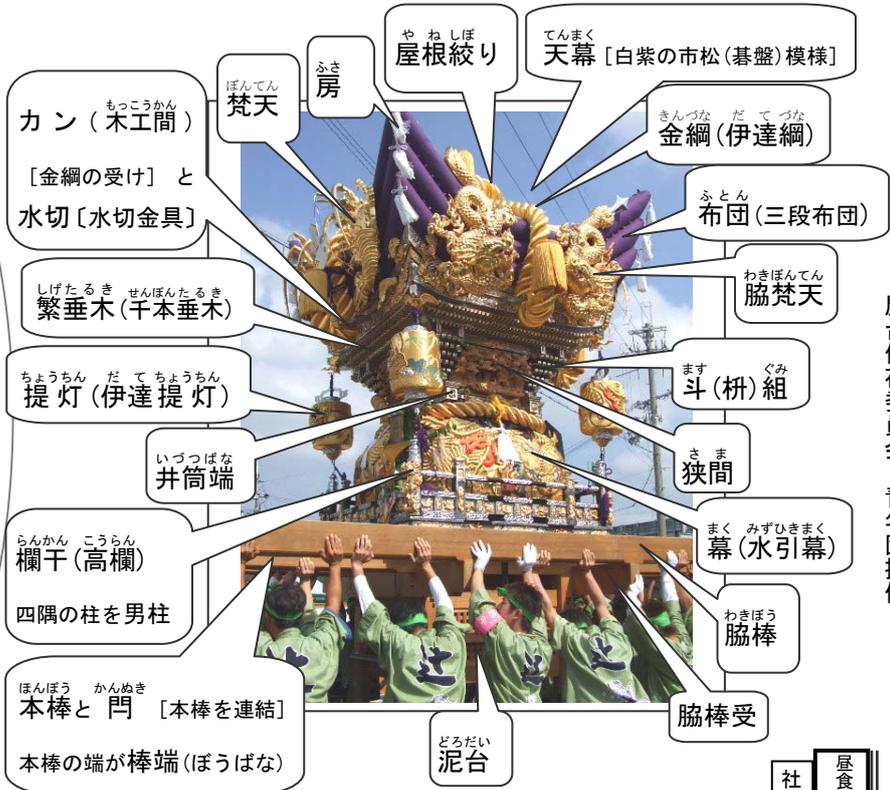
◆8月16・18日自治会対抗親善ソフトボール大会

一回戦 ○のゝ南大賞
二回戦 ●ヤーノ井ノ口
各隣保からの推薦も得て、集まった勇士23名の辻川チームが岡野監督・鈴木主将のもと、300名近い応援団の熱い声援(特に元気な小学生)も後押しし、二回戦へ。

特集

各部分の呼称 (播州祭礼研究室資料等参照)

屋台保存委員会・青年団提供

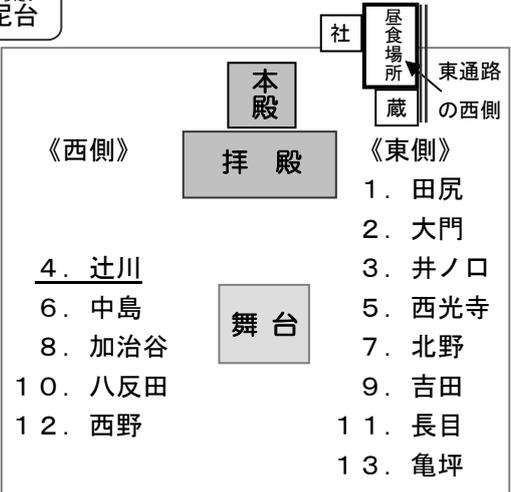


☆かける思い(青年団)

今年、秋祭りの服装でまわしが認められ、青年団一同俄然やる気になっていきます。飾り付けに関しては、昨年のような事がないように慎重に取り付けます。また、屋台の安全運行を考え、「コマを

新調する予定です。青年団も年々若い団員が増えてきています。自らが楽しむだけでなく、区民の皆様と一緒に祭りを盛り上げ、ともに楽しむ祭りをつくっていきましますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。(堀伸一郎)

☆宮入順と宮中での位置



神幸渡御(御輿がお旅所へ) 日程

9:30	祭典齊行(熊野神社)
10:30	神幸渡御発 11:40 岩尾神社発
10:50	岩尾神社着 12:00 熊野神社着

☆秋祭りまでの予定

乗子練習開始	9月13日
屋台倉での練習	未定
肩合わせ	未定
大鳴らし	10月9日

☆青年団OB会のいきいき

私たちは青年団OBの中で有志を募り、主に祭りの練習・準備等で青年団をサポートしていきます。祭りを盛り上げていくことと思っています。陰ながらですが、今年の祭りが良い祭りになるように頑張ります。(山口章範)

昭和初期の辻川界限

第3回

「村の真中を井の口から流れてくる堰溝(ゆみぞ)があり、夏は水量が豊かで、南の川下の松岡区長さんの横の洗い場では野菜を洗い、すぎ洗濯や、子供達が水遊びをしていました。川上の屋台庫の側のお地藏さんのお盆には*1御詠歌を小母さん達があげていました。川下のお稻荷さん(高藤稻荷)では初午にそれぞれ、小豆の御飯の大きなおむすびとたくあんを買って食べました。おいしかった思い出があります。又、近所には芸者さんの検番が二軒あり、昼間は三味線、踊りや唄の稽古、夕方から夜にかけて粋な島田の姿で*2箱屋の男の人をお供に、ますや、松井屋の料亭へ行っていました。郡役所があり宴会も多かったと思います。

家の裏の振武館では、*3招魂祭には在郷軍人が軍服を着て集まり、講演会、映画、剣道大会といろいろ催しがありました。振武館の空き地では芸者さん達の日頃の稽古の発表会がありました。笛、太鼓、鼓つづみ、三味線で、舞踊や唄があり、芝居もありました。大行列の奴さんの踊りがユーモラスで楽しく見ました。芝居は「加賀見山」

で奥女中の「若藤」が豪華な打掛姿で登場し、「尾上」をいじめる憎々しい口上を云い、驚いて見ました。最後は忠義な女中の「お初」が仇を討った話で、「女忠臣蔵」でも三つさつです。氏神様の鈴の森神社は子供の遊び場で行っていました。大きな山桃の木があり、熟した実は拾って食べました。男の子が木に登り、枝が折れ怪我をした事があります。枝がさくく折れやすそうでした。

四月三日の花見には村中、辻川山に登りお弁当を食べます。頂上からの眺めは小学校は真下に、そして広々とした田畑の周りを囲むように部落があり、田原の名の通り、いい所だと思いました。…続く…

（紙面の都合で原文を一部割愛、変更しました。）

*1 仏教音楽の一種。一般信徒が寺院・霊場巡礼の際に唱える歌。

*2 御座敷に出る芸妓に従って、箱に入れた三味線を持って行く男。

*3 死者の霊を祀る儀式。靖国神社で行われる春の例大祭。

編集子のつぶやき

昨年の秋祭りの反省は酒量。一昨年の屋台大集合で見せた辻川の見事な練りは「禁酒」から。その一盃が…老爺心ながら